

NO	意見内容	分野	区分	関係課	関係部会
1	大学のまちづくりと全国から集まってきた学生がいろんな活動をしています。学校だけでなく進めているし、助かっている面もあります。土門拳記念館までの土地については、農家の所有者も坪いくらの世界のためそのままにしておいて、一方で大学の話を聞いてもきれいな水田としてあのまま残していきたいと先生方は言っています。生態系、環境の面でも役立っている面もあるし、そういう地域活動としてうまく活用する方法があるのではないのでしょうか。ピオトープとかで維持するとか、地域の人と一緒にまちづくりができるのではないのでしょうか。	大学まちづくり	意見	企画調整課	総務
2	商工会議所や観光協会が観光マップを作るように、大学は大学なりの見方で酒田の売りをマップにしていきたい。	大学まちづくり	意見	企画調整課	総務
3	遊佐から朝日村まで、地元も知らないようなすばらしい人材が出ている。地元酒田の先生方の応援や行政ともぜひ連携しながら進めていきたい。	大学まちづくり	意見	企画調整課	総務
4	公益大教授の知恵や提言をもっと効率的な形で酒田市なり住民に還元して欲しい。	大学まちづくり	意見	企画調整課	総務
5	酒田の本間光丘から始まって、公益という言葉が実体験を伴わずに、あまり安易に使われすぎているのではないか。	大学まちづくり	意見	企画調整課	総務
6	出羽大橋から大学周辺の農地は、稲作としては効率的にすることは不可能に近い状況となっている。この地域は一部、大学の体育館等が整備されているが、将来的なまちづくりのビジョンが明示されていない。学生の活動も織りまぜながら、その土地に描くものがあれば良いと思う。農政の制度をうまく活用して、旧宮野浦の自治会と若宮町のまちの方と一体となった公民館の体制が整ったようだが、農家、農地を持っている住民以外の人から理解を得られるものを、酒田市が方針を示して、その中で行政と一体的となつて、あるいは大学関係と一緒に何かをすべきものと考えています。	土地利用	意見	企画調整課	総務
7	ボランティア振興協議会は、酒田市のボランティア活動を振興し、NPOなど新しい市民団体や旧3町への支援について議論してきた。それぞれの活動内容を捉え、活動支援をしていかなければならない。また、山形県との連携、ボランティア同士の連携、地域共創センターとの連携を深め、さらに自治会、地域でのボランティア活動をどんなふうに進めていくかが課題だ。	市民活動	意見	まちづくり推進課	総務
8	自治会というのは、自主団体である。歴史的なものが全く違うため、神社等を網羅しているところもあれば、神社のない自治会もあり、会長の報酬に差が出ている。運用についてはあくまで自治会にまかせるにしても、報酬についてはある程度統一したほうがよいのではないか。	市民活動	意見	まちづくり推進課	総務
9	旧3町地区の公民館の改編や公民館のあり方そのものが総合計画審議会の審議を進めていく上で重要なポイントになるものと思う。旧地区の住民の意見を聴いて素案をまとめるなど、最初にそういったものが提示されていなければならないと思う。	コミュニティ振興	意見	生涯学習課	総務
10	公民館をコミュニティ組織に移行することによって、地域格差が生じることが懸念される。一律に移行するのではなく、地域の特色を活かしていくことが肝要ではないか。その手立てとして、職員の問題や地域の要望を踏まえる必要がある。地域格差は10年も経てばとかなり大きくなるのが予想され、疎外感が拡大することも考えられる。	コミュニティ振興	意見	生涯学習課	総務
11	松山地域では、暗中模索の中、コミュニティらしい活動を進めている。敬老会事業では、今年から第3者機関で実施するようになった。4地区の公民館を中心として実行委員会やその他組織を立ち上げ、コミュニティのような感覚で進めている。難点となっているが、一部が他の小学校区域となっている集落について、公民館活動や小学校活動に支障をきたしている地域があることだ。その地域を、学区単位でなく公民館単位として活動をどうしていくのが課題となってくる。コミュニティを立ち上げることによって財政負担がどうなるのかが極めて不透明であり、何らかの説明、話し合いの機会をお願いしたい。	コミュニティ振興	意見	生涯学習課	総務

NO	意見内容	分野	区分	関係課	関係部会
12	旧酒田市では市街地地区と公民館地区の自治会があり、合併し3支所地域の自治会加わることとなりますが、旧酒田市の公民館地区と現状はほとんど同じではないかと思えます。中山間地域の中で、少子高齢化が進む中、統廃合が進んでいます。小学校が核となりいろいろな活動が進められてきたものが、小学校が消える中ということはいろんな分野で影響が出ているのではないかと思います。農業分野から見れば、農地を守る、あるいは水を守る、保全というのはコミュニティ全員の力で進めていかなければなりません。農業であれば担い手を育てていかなければなりません、コミュニティ全体のマンパワーが必要であり、行政の舵取りは容易でないのかもしれないが、課題として取り組んでいくことが必要だと思えます。	コミュニティ振興	意見	生涯学習課	総務
13	市街地の場合は自治会長会議という組織があり、ほとんどの事業をコミュニティ振興会が中心になって活動しています。地域活動の問題になっていますが、3町と一緒に地域活動をしていくためには、旧3町の公民館活動と旧酒田市公民館地区のコミュニティ振興会がほとんど同じようなかたちで動いているのではないかという印象を受けました。旧3町の場合は行政と一体的になっているような感じということで、そういう面ではコミュニティ振興会の場合は行政と全く関係なくいろいろな活動を企画して実行しています。そういった基本的な過去の問題を踏まえながら、1つの将来中心のかたちにもっていく必要があるのではないかと感じました。	コミュニティ振興	意見	生涯学習課	総務
14	黒森でも15年前にコミュニティ振興会へ移行しようとした際大変苦労したが、コミュニティはうまくいっているなど住民も感じてきている。合併時に方向性が決まっていなかったのであれば、自治会とコミ振のちがいを含め、形態を整理統一し、標準というものを示していくべきである。その中で、それぞれに特徴のある運営方針を打ち出した行くような仕組みづくりをすべきではないか。	コミュニティ振興	意見	生涯学習課	総務
15	ごみの有料化をやって、果してごみを減らすことが今の自然環境を変えていくことになるのか、CO2を減らすとかいろいろなことをやっているが、ここ何年か異常な自然災害がありました。新聞等でもそういったことを無くするためには自然環境の改善が必要ともありましたが、有料化を前提にすることより、まず如何に市民にごみを減らすかという考え方を示して、ごみ減量を主体とした施策として前面にだして、市民の意識を変えていく必要があると思えます。	ごみ減量	意見	環境衛生課	民生
16	今の酒田市の人口動態をピークとして見るのか、これから減少していくと見るのか、それとごみの量の関係を見つめて策定していかなければいけないと思えます。その問題と地球環境を保ちましょうというのは別問題と思えますので、如何に自然環境を保全していくのかをどこで結びつけていくのか、それとごみ料金を高くするというのは話がズレていると思えます。	ごみ減量	意見	環境衛生課	民生
17	地域の方々を、地域の包括支援センターで見るとというのが正しいと思えます。国では2万人に対してやれとは言っていますが、地域で欲しいのは、部落、部落の方々が地域コミュニティを盛んにして、地域包括支援センターで指導しながら、支え合いながら、地域の方々が隣りの方々と助け合っていくということが基本であり、何も国のとおりになくとも、この地域に合ったものにしていけばよいと思えます。	高齢者福祉	意見	高齢福祉課	民生
18	療養型の病床がなくなってきましたので大変なことがおきてきます。今、病院の統合問題とも絡んでいきますし、1か所の総合病院になった時に、この地域の本間病院と八幡病院と遊佐病院などの中間病院との医療連携をがっちり、行政の主導でもって作っていくべきだと思えます。そうすると患者さんが、中核病院を退院した後も、もし病床が必要であれば、八幡にもあります、遊佐にもありますよというような支えの仕方があるかと思えますので、それは行政でしかできないと思えます。その部分はお願したいということと、老人保健施設とか特別養護老人ホームといいますが、ある程度、行政の組織としてピシッとやっていたらよいのですが、バラバラなところがありますので、各老人保健施設としても、このような状況でありますので、非常に経営が大変になってきています。絶えず入所者を確保するようにしていたり、或いはというようなこともあるようですので、行政の方で、北庄内の患者さんの中核病院から在宅までに行くまでの中間施設を機能的に組織立った構図を確立してもらいたいと思えます。	医療体制	意見	健康課	民生
19	就労人口の壮年期死亡による減少が大きいということ、就労している人の胃がん、大腸がんの死亡率が高い。その原因は、この地域の小規模事業所の割合が98%位で、どうということかということ、小規模事業所には産業医が付かなくてよいことになっており、ついつい仕事の急がしさから健康管理が蔑ろになっている。この部分を市全体としてやっていかないといけないと思っております。	健康づくり	意見	健康課	民生

NO	意見内容	分野	区分	関係課	関係部会
20	検診者が増えたとの報告ですが、旧3町も含めてなのか、旧酒田市だけなのか、検診率が低かったのは、10年前より言われていたことで、私達もいろいろ手立てをしてきた経過があります。その中で、一斉検診をやりなさいと進めてきたが検診率は上がらなかった。申し込みの方法が変わっただけで、なぜそんなに増えたのか疑問に思いました。また、申し込みの仕方でも文章で回答させる方法になったようですが、私自身よく内容が複雑で分からずどうしたらよいかということがあったので、もう少し簡単に分かりやすいようにできないでしょうか。	健康づくり	意見	健康課	民生
21	禁煙に関して何かしら酒田地域に合ったユニークな取り組みがあってもよいと思っています。一番は、学校の教職員が禁煙することがいいと思います。子供達は喫煙を見ているだけでも良いものだと思っています。	健康づくり	意見	健康課	民生
22	医師会の立場は、10年前から統合でいこうということで話をしてきた。県立病院、市立病院のフォーラムのなかでも話したことで、医師の問題、病院経営の問題、この地域の患者数など、いろんな切り口から見た場合にそうなのですが、市でも県の対応を待ってから行くのではなく、市が丸となって統合に向かうのだという姿勢が見えにくい。今だと県の回答を待っての形であるので、もっと市全体として姿勢が見えないのが寂しい感じがします。もっと強めに求めていってもよいと思います。それでもだめだったら、半分以上の患者さんが酒田病院に来ている訳だし、医師会でも紹介をしている訳なので、市立酒田病院を建てるのだという強い意志とビジョンを持って、地域医療を守るんだという覚悟を持って市主体で取り組んでいってほしいと思います。	医療体制	意見	病院管理課	民生
23	山形新幹線の延伸についてももっと積極的に取り組んでほしい。	交通基盤	意見	企画調整課	産業
25	担い手のない田畑及び砂丘地の遊休農地が増えている。生産調整のために大豆を生産するのではなく、地域性のある作物を開発し作っていくことを重点事項として取り上げたい。	農業振興	意見	農政課	産業
26	トビウオの焼き干しと深層水を使った醤油、ごども焼酎、和梨のワイン、米粉パンなどの新しい特産物の開発販売について、行政の積極的な支援が必要だ。19年から米の需給調整が変わるが、今までは国や県の要請を受けての調整であったが、農業生産者が自らやる方向になることについても、行政の支援が不可欠だ。	農業振興	意見	農政課	産業
27	環境と水の問題は、大変な財政負担となる。財政的には、国で1/2、県で1/4、あるいは市で1/4それがはたして受けられるのかと感じる。それを土地利用計画の農地に当てはめれば、大変な金額となる。それをはたして市で受け入れられるのかということになる。本来、水と関わるのは農家だけでなく全体が恩恵を受けているわけで、やはり教育も関係するし、土地利用計画も関係してくるし、そういった面で大変な時期になっている。これを全て振興会を受けて、農家の担い手の人にもよしとなったら、市の財政は大変な状況になるのではないかと。そういったことも理解しながら進めないといけないと思います。	農業振興	意見	農政課 農林水産課	産業
44	産業部会でも申し上げましたが、治山治水の問題が非常に重要であります。森林保全を行なうことがとても大きなウエートを占めています。市の60%が山林であることから、治山治水対策に大きく影響することになります。現実の問題として、高齢化が進んだため管理しない山林が多く、荒れ放題となっています。また、山林による自然環境の恩恵を皆が受けているのに、それを地権者が保全するという厳しい状況となっています。せっかく林道整備を行ってもこれを管理することができなくなって荒れ放題となったり、よく山に熊が出没したりすると聞きますが、これも人が山に入らなくなったからであります。昔は山に誰かかれか入っていたが、今は入ることがなくなっているからです。	森林保全	意見	農林水産課	産業
45	治山治水・自然環境を守るという観点からすると、山に目を向けてほしいと思います。昔は地権者や関係者で維持管理していたが、もう管理していけない時期になってきています。地権者だけが管理するのではなく、山の恩恵や公益性を考え森林環境税なども視野に入れながら、皆で山を保全していく方策を検討してほしいということです。	森林保全	意見	農林水産課	産業

NO	意見内容	分野	区分	関係課	関係部会
28	受益者の高齢化により、山林の維持管理ができないような状況です。せめて林道だとか作業道の管理には行政も手を差し伸べて管理できるような体制を一日も早く整えてもらいたい。	林業振興	要望	農林水産課	産業
29	林業家の高齢化により、放置林や決壊したままの林道が多々ある。山の手入れ、森林の活用がこれからの大きな課題ではないか。山がお金になるようにしていくということ。若い人を雇用して、これからの活力のあるものにしていきたい。	林業振興	意見	農林水産課	産業
30	県では、里山、森林の整備に新たな枠組みで広く薄く税金を取りながら整備をしていこうというようなものを検討しているようだ。その流れというものも見極めていきたい。	林業振興	意見	農林水産課	産業
31	お金にならないから山林が荒れることは、はっきりしている。廃材や間伐材を木質ペレット燃料として上手く利用できれば、森林の手入れもある程度は進んでいくと思う。	林業振興	意見	農林水産課	産業
32	高校を卒業してやっと働ける、あるいは大学を卒業して地元に戻ってこようかという時に働くところが無く、とても帰れないとなくなっていくと、高齢化に歯止めがかからない、税収減というふうになっていく。	雇用対策	意見	商工港湾課	産業
33	山村ばかりでなく、農村部の集落やコミュニティ組織でも、後継者がなければ荒廃する。若者の働ける場の確保、これに全てが通じるのではないか。	産業振興	意見	商工港湾課	産業
34	中小企業の足腰が強くなるような施策を商工会と商工会議所を取り入れた形で検討することが必要だ。	産業振興	意見	商工港湾課	産業
35	酒田市は他の都市と比べて仕事場がないということが非常に明確である。学校を出ても仕事が無い、それが、地元離れの最大の要因であり、その地域の衰退を意味している。このため産業の振興は極めて大事な要素である。	産業振興	意見	商工港湾課	産業
36	八幡、松山、平田の商工会は、平成20年の4月を目途に合併を進めているが、ますます商工会議所との連携や情報の共有が大事になってくる。商工会に対する商工会議所の様々な配慮をお願いしたい。	産業振興	要望	商工港湾課	産業
37	合併を機会に4地区の婦人会も一緒になって新しい名所を視察したいなと思っています。そのコースなどについては観光物産課になるのだと思いますけれども、そういうものを作っていただけたらなと思います。	観光振興	意見	観光物産課	産業
38	庄内一円で桜を見る時期が違うのですよね。そういうことで、庄内一円で桜を見る場合は何月はどこで、その後はこっちでというふうな歩き回れるようなもの、あるいは史跡めぐりでもって江戸時代まではこういう繋がりがありますというもの。それから延命寺というものは板碑があって、すると中町の龍巖寺の板碑というのがありますが、真西90度にきますよと、そういうものを体感できるようなものの目次です。京都に行きますと様々あります。芸能からお寺めぐりから、そういうものを市で作る。観光客とおっしゃいましたけれども、それ以前に地元の人間が知らないのですよ。そういう面からまた様々な豊かな気持ちが出てくるのだらうと思いますので、一考をお願いしたいですね。	観光振興	意見	観光物産課	産業
39	先日の梅雨前線の影響で国道47号が通行止めになりました。また、その前には国道7号の土砂崩れによって羽越線までも通行止めになってしまいました。さらには数年前に国道112号が通行止めになったことも記憶に新しいところです。これらの道路は、地域にとってとても大切な道路網であるにもかかわらず、災害に弱い道路であっては心配であります。是非このようなものに対して、近隣市町村と一緒にあって県や国に対して要望活動を進めていかなければならないと考えます。資料の中では、整備促進というところに包含されるものと思いますが、より一層強く要望して頂きたいと思っています。	道路整備	意見	土木課	建設



NO	意見内容	分野	区分	関係課	関係部会
40	優先的に要望していく項目を決めていかないと、整備が進まないのだと思います。企業からすると物が動かないとどうしようもない。山形自動車道が止まった場合どこが迂回路となるのか毎日捜さなければならない。そのような点から考えると非常に重要な課題であると考えます。高速道路が整備されていないというのは、発展性がないと思います。是非、新庄酒田道路や日沿道の整備促進を要望していかなければならないと考えます。	道路整備	意見	土木課	建設
41	先ほどから話題となっている高速道路や下水道処理施設など文明社会を形成する経済基盤、これを支えるインフラ整備には費用が莫大にかかってしまいます。これまで以上に県や国との協力を密にしながら進めていかなければならないと思います。大切なのは、どこに住んでいても同じ恩恵を市民として受けることができると言うことだと思います。もちろんそれに伴う義務や負担金があるわけです。	道路整備	意見	土木課 下水道課	建設
42	生活排水対策としては、公共下水道、農村集落排水や合併処理浄化槽の事業が重要です。これらの普及がなかなか進んでいない現状ですが、どのような啓発活動を行っているのか。また、具体的な取組みはどのようになっているのか。河川の水質保全のためにも普及率を上げることがとても大切と考える。	排水対策	意見	下水道課	建設
43	平田地区には水を多く使う食品製造業がたくさんあります。これらが同じように使用水量で下水道料金をカウントされるとたいへんです。是非、食品製造業者に対する支援をお願いしたい。	排水対策	要望	下水道課	建設
24	都市計画法による規制、農振を含めた調整区域の関係が、企業進出や住宅の建設の妨げているのではないかと、少し白地にして、農家でない一般の人も求めることができるようになったが、それもまだ十分ではない。規模が拡大する稲作と野菜果物は、集約農業、施設園芸の方向にあるため、余剰はどんどん出るはずだが、土地と金の動きをもう少しまわすような考え方をしないと駄目だ。	土地利用	意見	都市計画課	建設
46	数年前まで旧松山町の水道料金は、全国で4番目か5番目に高いという状況であったが、合併後も同じような状況だ。合併協議に基づいて5年後に料金の統一を行なうとなっているが、旧松山町民として肩身の狭い思いをしており、5年と言わず下水道料金と一緒に早めに統一していただきたい。	水道料金 排水対策	要望	水道部管理課 下水道課	建設
47	酒田の教育を全国に発信する取り組みとして小中一貫教育を酒田で実施できないか。小中9年間で、スポーツでも音楽でも子どもの個性、才能を発見して伸ばす教育が可能になる。今、東京では中高一貫教育が圧倒的な流れになっている。既に文部科学省では、幼稚園と小学校との連携についても視野に入ってきた。	学校教育	意見	学校教育課	文教
48	行政や学校の都合で小中一貫教育を却下するのではなく、あくまでも波及的に教育効果があるものとして試験的な取り組みかなり効果が出ているものだからこそ私立でやっていることだと思うのです。その部分をはっきり踏まえながら行政でも真剣に取り組んで欲しいというふうに思います。	学校教育	意見	学校教育課	文教
49	地域コミュニティというものが、学区編成の元の地域から途端に分かれて地殻変動を起こすものですから地域コミュニティが出来にくい。その辺も視野に入れて学区編成も考えて欲しいと思います。	学校教育	意見	学校教育課	文教
50	一言申し上げたいのですが、先程小松先生がおっしゃった小中一貫教育の関係ですが、これからの子供達の減少を考えると、学区にこだわらないで1つの小中学校としての施設利用が考えられるのではないかと思います。酒田ではこういうふうなことをやっていますということ全国に発信できたら、さすがということ高く評価されるのではないかなと考えます。これは目標ですから総合計画の中に文言でも結構ですから、ぜひ採択していただくようにしたいと感じたものですから発言の機会をいただきました。	学校教育	意見	学校教育課	文教

NO	意見内容	分野	区分	関係課	関係部会
51	子どもたちが地域の面白さを実感できなければ、どの地域も将来はないと感じている。学校規模の適正化について、地域と連携しながら再度検証しなければならない。施設の充実という話も出てくると思うが、地域活動と学校活動の接点をどう考えていくのか。	学校教育 生涯学習	意見	学校教育課 生涯学習課	文教
52	子どもたちが知っている仕事は、華やかなものしかないが、中学生のインターンシップ制度を上手く活用して、農業・漁業・林業・土木業等の魅力を知ってもらおうと、地に足がついたものになると思う。	雇用対策	意見	学校教育課	文教
53	市の役割や責任において難しい面もあるが酒田の特徴や売り、あるいはこれからの重点について可能な限りもっと出していく必要がある。	人づくり	意見	学校教育課	文教
54	次世代の若い子達、あるいは青壮年期の方たちの人的、心の問題で価値観を育むようなところをどう目指していくのか。あるいは高齢期の方たちに生まれ育ったこの場所で死ぬのが幸せだというふうな、人づくりのコンセプトが感じられない。	人づくり	意見	生涯学習課	文教
55	合併後、全て旧市に吸引力があるように感じている。旧町地域にある遺跡や施設について、広く周知をされていないという現状である。今後できるだけ詳しく紹介し、一体性を図るべきだ。	文化振興	意見	文化課	文教
56	地域の歴史的なもの、文化財というものを活用し切れていない。そういうものを大掴みにしたコンセプトというものが足りなすぎる。大掴みしたところから小さいものへと活用して、どう繋げていこうかが見えない。城輪柵も今まで文献的に実証されているストーリーの中で持っていくような議論が必要だ。	文化振興	意見	文化課	文教
57	町の名前で、米屋町、染屋町とか、八幡や平田などでもあります。そういうふうな古来続いてきた町名というものをもっと大事にしていっていただけないかというような気がするのです。というのは私ら時代の50年というオーダーでなくて、様々な感覚の中に5～600年以上の酒田のDNAが入っている。いきなりこんなことを言うとおかしいかもしれませんが、何かその感ずるものがあるのですよ。ですから酒田の町、新町名ということではなしに旧町名を併記するような形、何かしらの雰囲気作りにして欲しいなと思います。	文化振興	意見	文化課	文教
58	この資料を見まして残念だなと思ったのが、伝統文化、まつりの部分が少ないのかなということです。子供達の教育でも、まつりに触れさせる、歴史に触れさせるという部分は大変重要な部分ではないかなと思います。66ページに酒田まつりという言葉が出ていますが、ここに入っているということは、酒田まつりは山王まつりが肝心のまつりではなくてイベント的な部分と市の方では捉えているのかなと私は思います。やはりこれはイベントではなくて伝統文化ですよという部分で話が進むのであれば、各学校の参加ということもできるのかなと思いますし、今、旧町の名前という話も出てきましたけれども、そういったまつりの伝統文化という部分を遡っていけば、昔はこういう町で出していたのだよという勉強も出来ます。	文化振興	意見	文化課	文教
59	最近の健康志向にあって、市民のスポーツ意欲は増しているが、費用を払ってまで頑張っていこうという意識までは高まっていない。参加者拡大の手立てとして、指導者の養成等があるが、発想を転換した仕掛けが当然必要ではないか。競技でなくレクリエーション的なものも含めながら進めていったら、少しずつ意識も変わるのではないか。	スポーツ振興	意見	体育課	文教